

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

日本会計コンサルティング株式会社

②事業者情報

名称：	春日部市立第6保育所	種別：	保育所
代表者氏名：	今井 和美	定員(利用人数)：	60 名
所在地：	〒344-0004 埼玉県春日部市牛島1276番地	TEL	048-754-5040

③評価実施期間

令和 2 年 7 月 16 日(契約日)～令和 3 年 3 月 17 日(評価結果確定日)

④総評

◇特に評価の高い点

【きめ細やかなマネジメントを通じて、風通しの良い職場環境を実現しています】
職員が主体性を持って運営に関わってもらえるように、職員に様々なアイデアを創出させる環境作りに所長が取り組んでいます。それは、職員一人ひとりに積極性を持ってもらい、ボトムアップで意見を出しながら納得感をもって保育所の運営に関わってほしいという思いからです。具体的な取り組みとしては、各種会議で職員一人ひとりの考えを尊重し発言しやすい雰囲気作りをしています。それにより職員同士がこまめにコミュニケーションが取れる環境へと繋がり、非常に風通しの良い職場となっています。また、職員同士でコミュニケーションをこまめに取りすることで、子どもについての情報交換が頻繁に行われており、保育サービスの向上に繋がっています。今後も、所長のきめ細やかなマネジメントを通じて風通しの良い環境作りを継続していくことを期待します。

【広い芝生の所庭で子どもが全身を動かして遊ぶことができます】
恵まれた自然環境が子どもの成長にとって重要な心身の形成に役立っています。芝生の最適な状態を保ちながら、各年齢における遊びを提供しています。3歳未満児においては、各年齢に応じて砂場遊びや身体を十分に動かす遊具などから、安心して身体の動きを促進し、芽生えてくる探究心を育てています。3歳以上児は、集団生活でのルールを意識しながら、ドッチボールや鬼ごっこなどの遊びから、より活発な身体面での運動能力と自然環境への研究心などが育まれています。また、保育所における行事などもこの広い芝生の所庭で開催し、保護者と一緒に楽しむことができます。充実した保育環境を活かし、成長に応じた戸外活動を通じて心身の成長を育てています。

【送迎時における職員と保護者との日常的なコミュニケーションを通じて、子どもの様子を保護者に伝えてます】
職員と保護者は日常的なコミュニケーションを通じて、子どもの日常生活について情報共有をしています。例年は、各クラス内で職員と保護者間で十分なコミュニケーションを取れていましたが、新型コロナウイルス感染症予防対策の一つとして、調査年度時点での送迎はベランダでの短時間対応となっています。この影響により、保護者がクラス内に入って子どもの日常生活の様子を見ることができなくなっていますが、送迎時に子どもについての情報を詳細に保護者に共有しています。保育内容については、例年は子どもの姿を実際に観察し、職員とのコミュニケーションからも子どもの成長を保護者に確認してもらっています。調査年度時点では、保育内容を各クラスの様子が一覧できる掲示板でお知らせしています。このような取組については、今回の第三者評価の利用者アンケート調査の「園便りや掲示、連絡帳などにより、園の様子や行事について十分な情報提供がありますか」という項目で81.5%の方が満足していると回答しており、好評を得ています。

◇特にコメントを要する点

【施設設備において、市と協議しながらの環境整備がサービス向上に繋がります】
 今回の第三者評価の保護者アンケート調査から、当保育所では所庭が広く芝生であることが保護者に好評を得ています。その一方で、トイレの臭いや施設の古さ、防犯面に不安を抱えるといった施設設備についての意見があり、環境整備が課題となっています。職員は現環境下で工夫を重ねて、より良い環境作りに努めてはいますが、施設設備における課題は職員の努力だけでは限界があります。

また、施設設備の対策においては、同じ公立保育所間の予算優先度の兼ね合いもあり、改善がなかなか円滑に進まないという背景があります。しかし、今後は市と協議を重ねて連携し、市単位での一体的な施設設備の改善を図っていくことで、より安心安全な保育サービスの提供に繋げることを期待します。

【職員の育成プログラムの改善が保育サービスの向上に繋がります】

当保育所は、安全管理マニュアル、衛生管理マニュアルなど、多くのマニュアルを整備しています。しかし、子どもの知力・体力・発達に応じてスキルを磨いていくといった、職員の細やかな育成プログラムは十分に整備されていません。職員育成のための春日部市立保育所研修計画を策定していますが、実施状況を確認することが出来ませんでした。

昨年より、キャリアパスチェックシートを作成し、導入しています。ただし、現時点で各公立保育所内の利用に留まるものとなっています。今後、キャリアパスチェックシートを有効活用し、公立保育所間でも横断的な情報の共有化をするなどの取り組みを期待します。横断的な情報共有をすることで、公立保育所全体としての保育サービスの標準化・質の向上に繋がります。

その上で、子どもの知力・体力・発達に応じた、職員の細やかな育成プログラムも同時に整備していくことで、保育サービスの更なる質の向上を図ることができます。

【年齢別保育に加えて、目的を持った異年齢児交流の実践が具体的に見える指導計画の作成に期待します】

各年齢のクラスでは、職員が子どもの成長を援助するよう関わっています。子どもの生活と遊びの内容については、個々の成長に合わせた支援をしています。ただし、3歳未満児における集団遊びでは、安全面に配慮することを重視しています。こういった配慮によって、集団遊びの基本となる、ルールを意識した遊びの展開は比較的少なくなっています。また、異年齢児交流でのコーナー遊びやごっこ遊びなどにおいて、目的を持った交流の回数が少なくなっています。幼児期の1年間の成長は一人ひとり大きく異なる為、異年齢児交流の実践を具体的に記載する指導計画や日誌等の作成に期待します。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

今回の第三者評価は、「保育所の健康診断」を受ける気持ちで受けてほしいということから始まり、最終の報告会を迎えることができました。評価結果を受け、どの項目にも更なる改善の必要性を感じました。年齢別保育や混合保育について、今後は、より綿密な計画をたて、一つ一つの保育内容への目的意識を高く持って実践できるよう取り組んでいきたいと思えます。また、保護者からの要望でもある施設面の改善についても、引き続き保育課との連携を図り進めていければと思います。公立保育所全体で使用を始めたキャリアパスシートなどの有効活用が、職員育成や保育の質の向上に繋がるよう保育所間で共有していきたいと思えます。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果

別紙「評価細目の第三者評価結果」のとおり